2012年度の主な取り組み項目と社外規範(国連グローバル・コンパクト、ISO26000⁹中核主題)との対応

			国連グローバル・コンパクト				ISO26000中核主題							
項目	課題項目	2012年度の主な取り組み項目	人権	労働	環境	腐敗防止	組織統治	人権	労働 慣行	環境	公正 事業 慣行	消費者課題	3512万/ 参画• 発展	ページ
	高速道路の老朽化	対策	*					*				*		P5
特 集	「お客さま満足施設	と 引への変革と新事業の創造	*			<u> </u>		*				*	*	P9
	新名神高速道路の	着実な建設	*		*	*		*		*	*	*	*	P11
ご意見を	ステークホルダー9	安全・安心の追求	*					*				*		P14
いただく会	との対話	SA・PAの変革										*	*	P15
		環境への配慮			*					*			*	P16
コーポレート・	コンプライアンスペ		ļ	ļ		*	*			ļ	*	ļ	ļ	P21
ガバナンス?	リスクマネジメント					*	*		ļ	ļ	ļ	ļ		_
(企業統治)	情報セキュリティペ		ļ			*	*				ļ	ļ		P22
圣営改善計画 6.44.74	人権の尊重 経営改善に関する		*	*		*	*	*	*					P23
の推進 ステークホル	ダーとともに													
	100%の	道路構造物の老朽化対策												
	安全・安心の追求		*					*				*		P27
	(予防保全)	災害に強い道路を目指して	1											/
	1000/ Ф	実用化した技術開発の活用												
	100%の 安全・安心の追求		*					*				*	*	P29
	(技術の高度化)	技術開発促進のための取り組み										^		'2'
		交通安全対策		ļ							ļ	ļ	ļ	
	100%の 安全・安心の追求 (交通安全)	交通炎	*											
		交通管理巡回												
		法令違反車両の取り締まり					*	*			*	*	*	P31
646		道路交通情報の提供												
お客さま		造品文価情報の提供 料金所の「安心」の追求	-											
		お客さまの声を事業に反映		ļ				ļ			ļ		ļ	
		お客さまの評価を確認	-											
	お客さま サービスの向上	グループ全体のCS向上活動										*		P35
		料金所におけるCSの追求												
		SA・PAの「お客さま満足施設」への変革				ļ								
			*					*				*	*	P38
	多様な価値の	地産地消への取り組み 高速道路のノウハウを活かした業務										*	*	P40
	提案と提供 着実な道路	委託 高速道路ネットワークの整備												
	ネットワークの 整備と機能向上	既存ネットワークの機能向上	*					*				*	*	P41
		防災体制の強化												
-B .	災害対応力の	地域・他機関との連携の強化	1 .										١.	
7112	強化	日頃の取り組みの強化	*					*					*	P43
	3	被害想定の見直しと災害への備え	1											
社 会		高速道路建設・維持管理に関するノウ												
	海外の高速道路	ハウや技術力を活用した海外高速道												
	事業を通じた	路事業を展開											*	P45
	新たな価値の創造	海外との技術交流や国際貢献を通じ												
		た人材育成				\vdash								
	公正、透明、	低利かつ安定的な資金調達 投資家・金融機関の皆さまとのコミュ												
		大真家・並融機関の首さまとのコミュ ニケーション				*	★				*			P47
	健全な事業活動	外部評価による透明性確保	-			^	^				^			F4/
10. We aim		不正通行対策	1											
投資家・ 国民の皆さま		ウェブサイトによる情報発信							ļ	ļ	ļ	ļ	ļ	
国氏の目でか	積極的な	事業への理解を深めていただくため	-			*	*				*	*	*	P49
	情報公開	の情報発信										^		,
	「自立」と「成長」	「自立」と「成長」を支えるキャリア												
		マネジメントの基本戦略												
IMI WA		人材育成の取り組み												
	戦略を支える	「自立」と「成長」を担う人材の確保と	*	*				*	*					P51
ブループ社員	人材の育成	活躍支援	-											
		ワークライフ・インテグレーションへの推進	-											
	CA DA O = 15.1	労使関係				\vdash								
100h	SA・PAのテナント 会社との協働	SA・PAテナント会社との協働										*	*	P55
				1	ļ			ļ	·				ļ	ļ
			1											
3,111	0 = 1 = = = = = :	情報の公表												
お取引先	公正な取引関係	情報の公表 電子契約の実施	_			*					*			P56

			国連グローバル・コンパクト				ISO26000中核主題							
項目	課題項目	2012年度の主な取り組み項目		労働	環境	腐敗防止	組織統治	人権	労働 慣行	環境	公正 事業 慣行	消費者課題	1ミュニティ 参画・ 発展	ページ
より広い社会	、未来への働きかけ	t												
	環境経営の 推進	環境方針 環境基本計画			_					_				P57
		環境基本計画2015および環境アクションプラン 2012			*					*				P5/
	低炭素社会 ^へ の 実現	事業活動と環境負荷 CO2排出量の削減	 						ļ					
		円滑な交通の確保によるCO2排出量の抑制			*									
		省エネルギーの推進]							*				P61
OY.		創エネルギーの推進												
環境保全		樹林化によるCO2の吸収・固定の促進												
垛况休主	循環型社会 ^へ の 形成	建設副産物の3R ^へ	-		*									
		緑のリサイクル								١.				
		事業活動により発生するその他の 廃棄物の3R								*				P64
		環境に配慮した製品・資材の調達												
	自然と共生する 社会の推進	生物多様性への保全			*									
		道路建設における自然環境への配慮								*			*	P67
		道路交通による騒音への対策												
	社会の持続的な発展への貢献	安全への取り組み	り組み への取り組み ★ ★											
100		環境への取り組み												
		地域の元気への取り組み			*			*		*		*	*	P69
社会貢献		社員の社会貢献活動の支援・促進												
社工貝臥		西日本高速道路エリア・パートナーズ 倶楽部による社会貢献活動												

2012年度の主な取り組み指標についての目標と実績

指標	内容	2012年度		単位	2013年度	関連するCSRS課題			
拍標	M &	目標	実績	平 1位	目標				
本線渋滞損失時間	高速道路本線での渋滞発生に よるお客さまの損失時間	486	469	万台・時間	467	100%の安全・安心の追求(交通安全)(→P31)着実な道路ネットワークの整備と機能向上(→P41)低炭素社会の実現(→P61)			
路上工事による 車線規制時間	道路1kmあたりの路上作業に 伴う年間の交通規制時間	77	89	時間/km	91	100%の安全・安心の追求(交通安全)(→P31)			
死傷事故率	走行車両1億台kmあたりの死 傷事故件数	9.0	8.2	件/億台km	8.0	100%の安全・安心の追求(交通安全)(→P31)			
舗装保全率	早期に補修を必要としない健全な 舗装路面の割合(車線延長比率)	96	96	%	94	100%の安全・安心の追求(予防保全)(→P27)100%の安全・安心の追求(技術の高度化)(→P29)			
橋梁修繕率	早期に修繕を必要としない健全 な橋梁の割合	91	92	%	94	100%の安全・安心の追求(予防保全)(→P27)100%の安全・安心の追求(技術の高度化)(→P29)			
橋脚補強完了率	耐震補強を必要とする橋脚のう ち、補強が完了している割合	99	99	%	100	100%の安全・安心の追求(予防保全)(→P27)100%の安全・安心の追求(技術の高度化)(→P29)			
顧客満足度	CS調査等によって把握する、 維持管理についての お客さまの満足度※	3.6 以上	3.6	ポイント	3.7 以上	お客さまサービスの向上(→P35)SA・PAのテナント会社との協働(→P55)			
利用時間確保率	道路が利用可能な 時間の割合	99.7	99.7	%	99.8	100%の安全・安心の追求(交通安全)(→P31)			

⁽注)本表は、「コミュニケーションレポート2013」発行時点から、2013年度目標を追記したものです。

25 NEXCO西日本グループコミュニケーションレポート2013 **26**

[※] NEXCO3会社同一の基準によって、NEXCO総研が実施するウェブ調査。 5段階で測定する。